

資料9-5

開催日	開催テーマ	開催場所	特記事項
H30年6月19-20日	廃棄物の分析技術開発に関する研究カンファレンス (FRCWM2018)	富岡 (学びの森)	廃棄物Div.主催 参加者: 約100名、海外4名、学生13名
H30年9月18-20日	1Fの燃料デブリ分析・廃炉技術に係る研究人材育成(案)	いわき(LATOV) 広野(Jヴィレッジ)	福井大主催 燃料デ・炉内Div担当
H30年10月30日	原子力施設における遠隔技術に関する研究カンファレンス Fukushima Research Conference on Remote Technologies for Nuclear Facilities 2018	檜葉 (檜葉遠隔技術開発センター)	檜葉C主催
H30年11月5日	燃料デブリ取扱に関するカンファレンス(案)	いわき (LATOV)	リスクDiv主催
H30年11月26-27日	第2回廃炉のための放射線計測研究カンファレンス	富岡 (学びの森)	遠隔Div主催
H30年11月26-27日	Rad-smart technology for nuclear decommissioning.(tentative)	富岡 (学びの森)	小川特別研究員

○概要

平成30年6月19日(火)、20日(水)、福島県双葉郡富岡町「学びの森」において、平成30年度第1回福島リサーチカンファレンスとして、今後の廃止措置研究の促進を図るため、廃棄物管理に関する研究開発を進めていく上で必須となる、廃棄物の分析に関する技術開発を中心に、最新の知見に関する意見交換を行う「廃棄物の分析技術開発に関する研究カンファレンス(FRCWM2018)」を開催した。

6月19日(火)は、本カンファレンスの企画検討会主査である東京大学の長谷川秀一教授より挨拶があり、続いて東京電力ホールディングス株式会社佐橋憲司氏による「講演「福島第一の廃棄物管理」」が行われ、その後「原子力施設での事故廃棄物の特性」と「福島第一における廃棄物の分析に関する研究の現状」の2つのセッションで英国セラフィールドサイトでの廃棄物の性状把握の方法、チェルノブイリ原子力発電所の事故により放出された放射性核種、福島第一原子力発電所で発生した廃棄物の分析及びその結果を用いた性状把握の開発といった議論が行われた。

本カンファレンスでは、外国の専門家4名(英国(セラフィールド社)、ロシア(福島大)、中国(放医研)、ベトナム(JAEA))を含む10名が講演を行い、議論を通じて福島第一原子力発電所の廃止措置を促進するための廃棄物の分析、性状把握の重要性について再認識されることを期待している。一方、留学生を含む学生の参加が13名あり、次世代の若手研究者の育成に向けた貴重な場となった。参加者は、約100名であった。

6月20日(水)には、「分析技術の高度化」のセッションが行われたほか、大学生等の若手研究者による1Fに関する19件のポスター発表が行われ、優秀な発表への表彰が行われた。6月21日(木)には福島第一原子力発電所及びJAEA櫛葉遠隔技術開発センターの見学を実施した。



○参加人数

約100名(うち、学生13名)

海外専門家4名(英国(セラフィールド社)、ロシア(福島大)、中国(放医研)、ベトナム(JAEA))

○URL: <https://fukushima.jaea.go.jp/initiatives/cat05/20180619.html>

開催日	開催テーマ	開催場所	特記事項
H29年 6月20-21日	廃止措置及び廃棄物管理におけるセメント系複合材料に関する研究カンファレンス	富岡 (学びの森)	企画委員会(主査:佐藤北大名誉教授)による開催 参加者:約100名、海外6名、学生約25名
H29年 7月 5- 6日	事故進展解析と熱力学データベースに係るワークショップ	富岡 (学びの森)	ACTINIDES 2017に合わせて開催 参加者:約100名、海外21名、学生8名
H29年 9月 5- 6日	「燃料デブリ」に関する研究カンファレンス Research Conference on Fuel Debris Characterization 2017 (For Research and Human Resource Development)	富岡 (学びの森)	企画委員会(主査:宇埜福井大教授)により福井大と共催、人材育成をテーマに学生および若手研究者の討議セッションを実施 参加者:約50名、海外9名、学生14名
H29年11月27-29日	「福島第一原子力発電所の主要コンポーネントの腐食予測と緩和に関するカンファレンス」 Fukushima Research Conference on “Corrosion Prediction and Mitigation for Key Components of Fukushima Daiichi NPP”	富岡 (学びの森)	企画委員会(主査:Prof. FERON(CEA))による開催 参加者:約100名、海外8名、学生5名
H29年11月29-30日	「原子力施設における遠隔技術に関するカンファレンス」 FRC on Remote Technologies in Nuclear Facilities 2017	檜葉 (檜葉遠隔技術開発センター)	IREX2017に併せて開催 東大浅間教授の基調講演のほか、英米からの招待講演 参加者:約30名、海外5名、学生1名
H30年 3月 4日	「放射性セシウムの陸域環境や生態系における移行(第3回国際セシウムワークショップ)」 FRC on Environmental dynamics study in Fukushima Prefecture 2017	三春 (福島県環境創造センター)	福島県主催の環境創造シンポジウムと同日に国際Cs Workshopとの位置づけで開催 参加者:約100名